

# 英国人気質①

- 家族、家庭第一主義
- 生活が質素で無駄使いをしない。
- 生涯の生活設計を描いている。
- 耐久消費財を買う時は競合を調べる。
- 省エネへの関心が高い。
- 家の手入れや修理、設備の手入れはDIYで。
- 必ず休暇を取る。
- 必ずティータイムを取る。

## 英国人気質②

- 物事の本質を見極める能力が高い。
- 政治への関心が極めて高い。
- 歴史・伝統や古い物の価値を認める。
- 絶対弱者優先の精神を持つ。(人助け)
- ボランティア活動を積極的に行う。(人助け)
- 献血や死後の臓器提供は積極的に。
- 柔軟な教育観、職業観、宗教観、人生観。
- フェアプレー精神を持つ。(公正、公平)
- 個性の尊重。
- わがままは聞かない。
- 非常時の合意が取り易い。(エゴより筋道)  
(例:フォークランド戦争、湾岸戦争)

# フォークランド戦争

- 1982年 英国とアルゼンチンとのフォークランド諸島の領有権問題がこじれての戦争
- 兵員輸送のため、当時航海中の豪華客船「QE2」と「キャンベラ」を政府命令でサザンプトン港に帰港させ、一週間で徴用船に改修



フォークランド戦争開戦時に政府から徴用された豪華客船QE2.



徴用から一週間後に兵員輸送船に改造されたQE2.

# 湾岸戦争

- 1990年8月、イラクがクウェートに侵攻。
- 英国は国連の多国籍軍の一員として派兵。
- 多国籍軍の死者368名（内英国軍死者48名）、負傷者776名（内英国軍は約100名）
- 多国籍軍は空からのピンポイント攻撃。
- 政府からの本土の主要空港近くの病院の病床を50%空ける要請に国民は答えている。

# 新潮新書「国家の品格」

著者 藤原 正彦

お茶ノ水女子大教授

# 新潮新書 「国家の品格」より抜粋

- 「美しい情緒や形」には、世界に通用する「普遍的価値」がある。
- 世界中の国が、イギリスの言うことには耳を傾ける、それはイギリスが生んできた普遍的価値」というものに対する敬意があるからです。
- それではイギリスの生んだ「普遍的価値」とは？

# 英国が生んだ普遍的価値の例

- 議会制民主主義
- 文学のシェイクスピアやディケンズ
- 力学のニュートン
- 進化論のダーウィン
- 経済学のケインズ
- 看護教育のナイチンゲール
- コンピューター、ジェットエンジン、無線通信、レーダー、原子力、蒸気機関等々

# 日本が生んだ普遍的価値の例

- “自然への畏怖心、ひざまづく心、懐かしさ、自然への繊細で審美的な感受性といった美しい情緒“
- 武士道、茶道、華道、剣道、柔道、相撲等々
- 文学作品：万葉集、古今集、枕草子、源氏物語等々
- 世界初の小説形式の源氏物語の作者：紫式部
- 俳諧と言う文学の確立：芭蕉
- 行列式を発見した数学者：関孝和
- 寿司、豆腐、布団等々

英国で出来て日本で出来ない事象  
日本で観れるが英国で観れない事象

# 英国で出来て日本で出来ない事象①

- 誰でも政治家になれるチャンスがある
- 選挙費用 **£20,000 (250万円)** と極めて少ない
- 通常選挙とは別に国民投票制度がある
- 医療費が原則無料
- 高速道路が無料
- 消費税が20% (食料品や子供服等は0%)
- 渋滞税 (ロンドン市内に入る車に **£9** 課税)
- 低床式バス (障害者や高齢者の配慮)
- 合法的な白タク (免許制、メーター無し)
- 公営のゴルフ場
- 公衆トイレの温水配管 (瞬間電気給湯器)

## 英国で出来て日本で出来ない事象②

- 送配電の分離と電力の自由化
- 電気料金の安い電力会社が選択できる
- 再生可能エネルギー発電を選択できる
- 電柱の地中化(100%)
- 深夜電力の活用(暖房、給湯、洗濯、食洗等)
- 運転免許証の更新は70歳に到達時のみ
- 車検はWYWで、費用は£55(¥7,000)
- 60歳以上は公共交通機関が無料(範囲限定)
- 特急列車も普通列車も同一料金
- 公共放送視聴料未納は罰金£2,000(¥25万)
- デビットカードの普及
- セルフのガソリンスタンド
- 横断歩道前の歩行者を見たら必ず停車するドライバー

## 日本で観れるが英国で観れない事象①

- 鉄道の相互乗り入れと時刻の正確さ
- 医療機関の自由選択
- 居酒屋
- 自動販売機
- 24時間オープンコンビニ
- 賃貸住宅の敷金・礼金
- 野立て看板
- 電柱
- 車で走行しながら発する大音量
- 歩道のない道路

## 日本で観れるが英国で観れない事象②

- 豪華な設備のゴルフ場
- ゴルフクラブの宅配便輸送
- ホールインワン保険
- パチンコ、競輪、モーターボートレース
- クラブ、キャバクラ、バー、スナック、カラオケ
- カプセルホテル
- ラブホテル
- 銭湯
- 活魚輸送

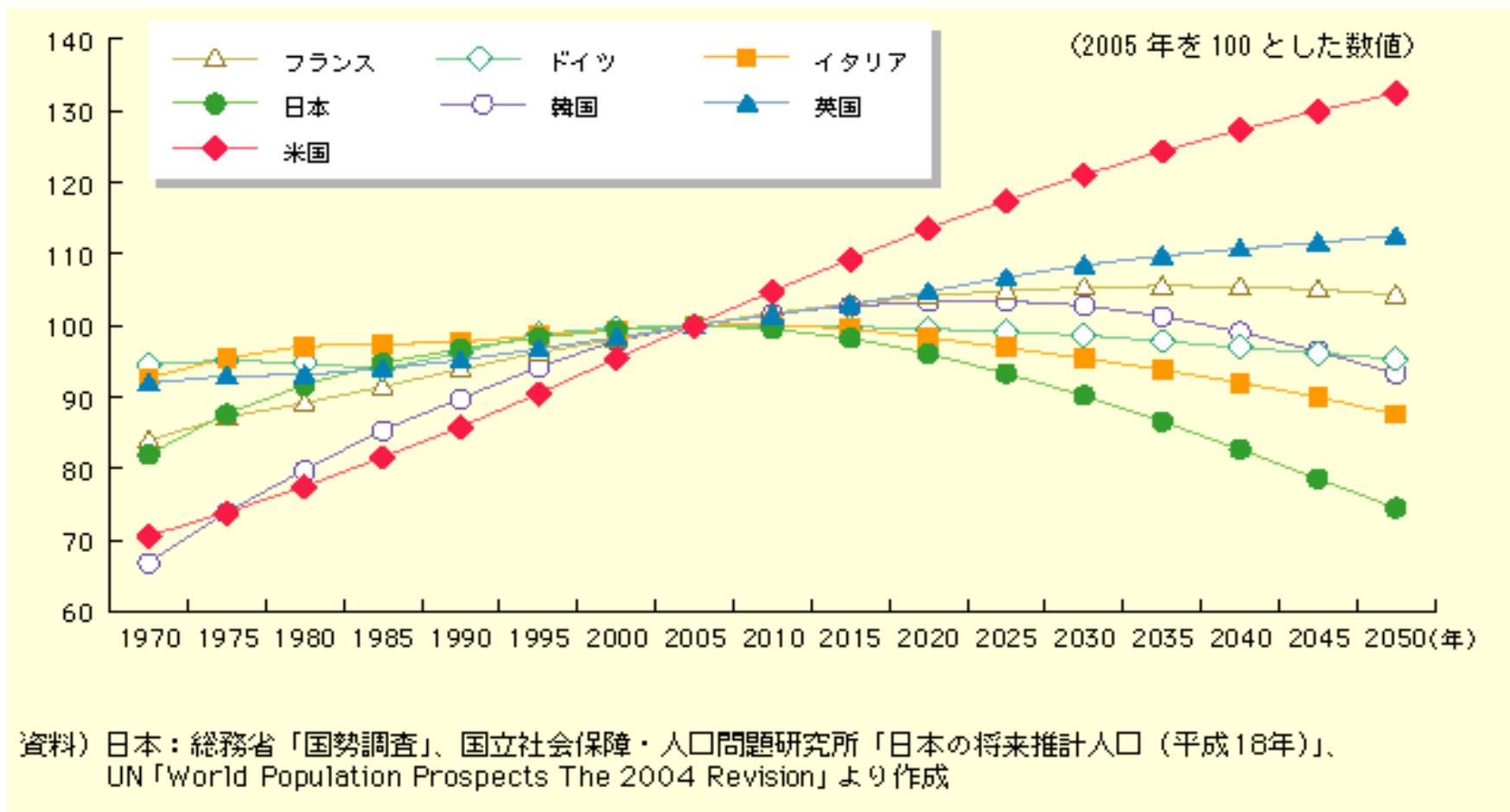
# 英国人と日本人の習慣の違い

	<u>英国人</u>	<u>日本人</u>
• 数の数え方	親指から開く	親指から閉じる
• おつり	足し算	引き算
• 住所	先に氏名	先に住所
• のこぎり	押して切る	引いて切る
• くしゃみ	音を出さない	音を出す
• スープを飲む時	音を出さない	音を出す
• 男女優先	女性優先	男性優先
• 料理	一品ずつ	全品一度に
• 名前の呼び方	名前と呼ぶ	姓で呼ぶ
• 住宅の玄関ドア	内開き	外開き
• 戸建住宅の表札	なし	あり
• 風呂(体を清潔に)	暖める所でない	暖める所

# 講師が観た日本の5つの心配事

# 心配事① どうする日本の人口減少!

## 人口の推移の国際比較



日本は先進国の中で人口減少率が一番多く、国力の衰退に繋がります。果たしてこのままで良いのか考えさせられます。英国は1970年から40年間で人口増は約600万人で、国策で全ての施策が人口増を前提としています。

## 心配事② 毎年自殺者が3万人を超える日本!

### 自殺率の国際比較(人/10万人)

出所:WHO 2008年

<u>順位</u>	<u>国名</u>		<u>順位</u>	<u>国名</u>	
1.	リトアニア	38.6	20.	スイス	17.5
2.	ベラルーシ	35.1	26.	中国	13.9
3.	ロシア	32.2	29.	スエーデン	13.2
4.	スロベニア	26.3	31.	ドイツ	13.0
5.	ハンバリー	26.0	40.	カナダ	11.3
8.	日本	23.7	42.	アメリカ	11.0
11.	韓国	21.9	45.	オーストラリア	10.8
13.	ベルギー	21.1	56.	スペイン	7.8
15.	フィンランド	20.1	62.	イタリア	7.2
19.	フランス	17.6	65.	英国	6.7

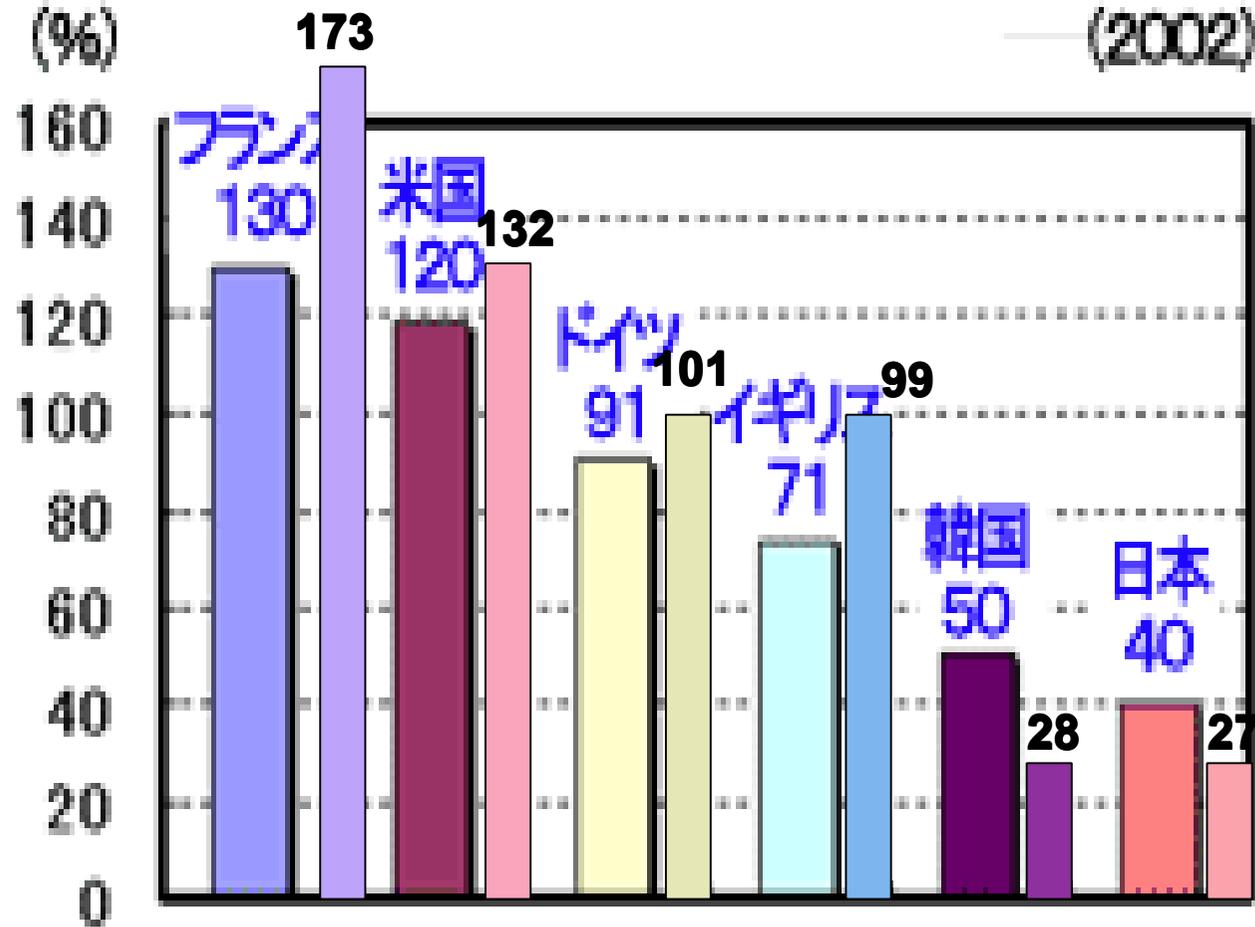
先進国の中で10万人当たりの自殺者数が最も少ない英国と最も多い日本、日本社会に潜む国民を自殺に追いやる根深い問題がありそうですね。

# 心配事③年々下がる食糧自給率、どうする！

## 食糧自給率の国際比較

出所：農林水産省

黒数字は穀物自給率

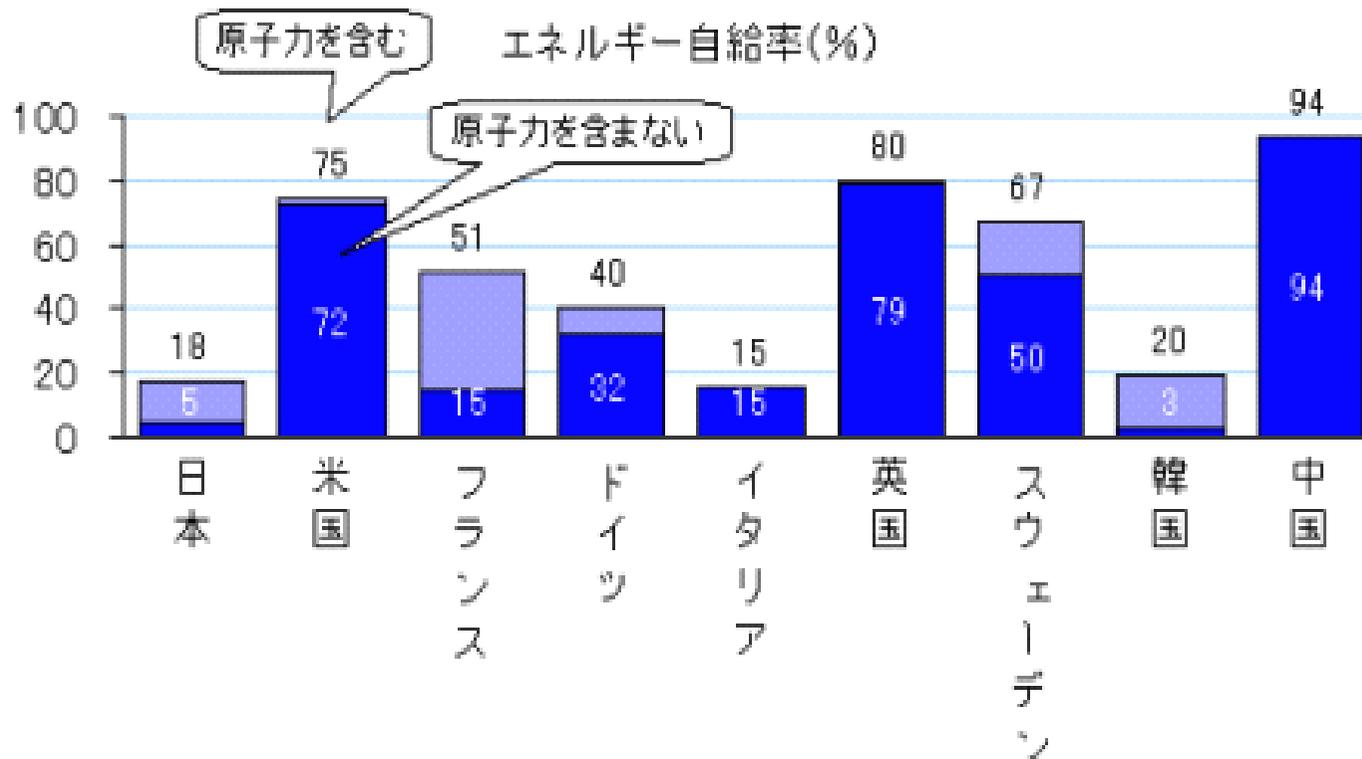


日本の食糧自給率には驚かされます！ かつて自給率100%だった事をおもうとこれまで政治家は何をなってきたのかと腹立たしく思うのは私だけでしょうか。

# 心配事④ どうするエネルギー

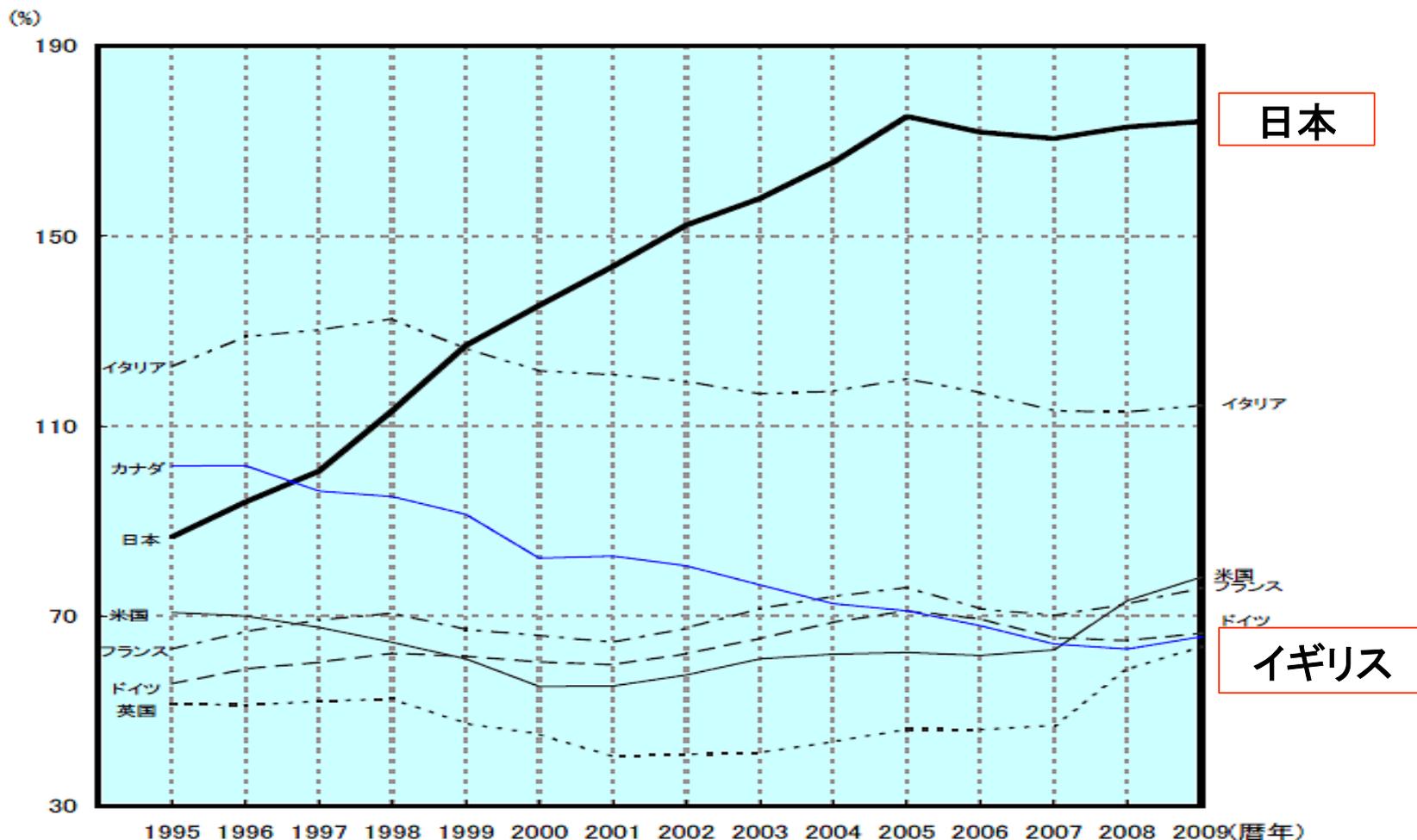
## 主要国のエネルギー自給率

主要国のエネルギー自給率とエネルギー効率(2008年)



# 心配事⑤ どうする国の借金!

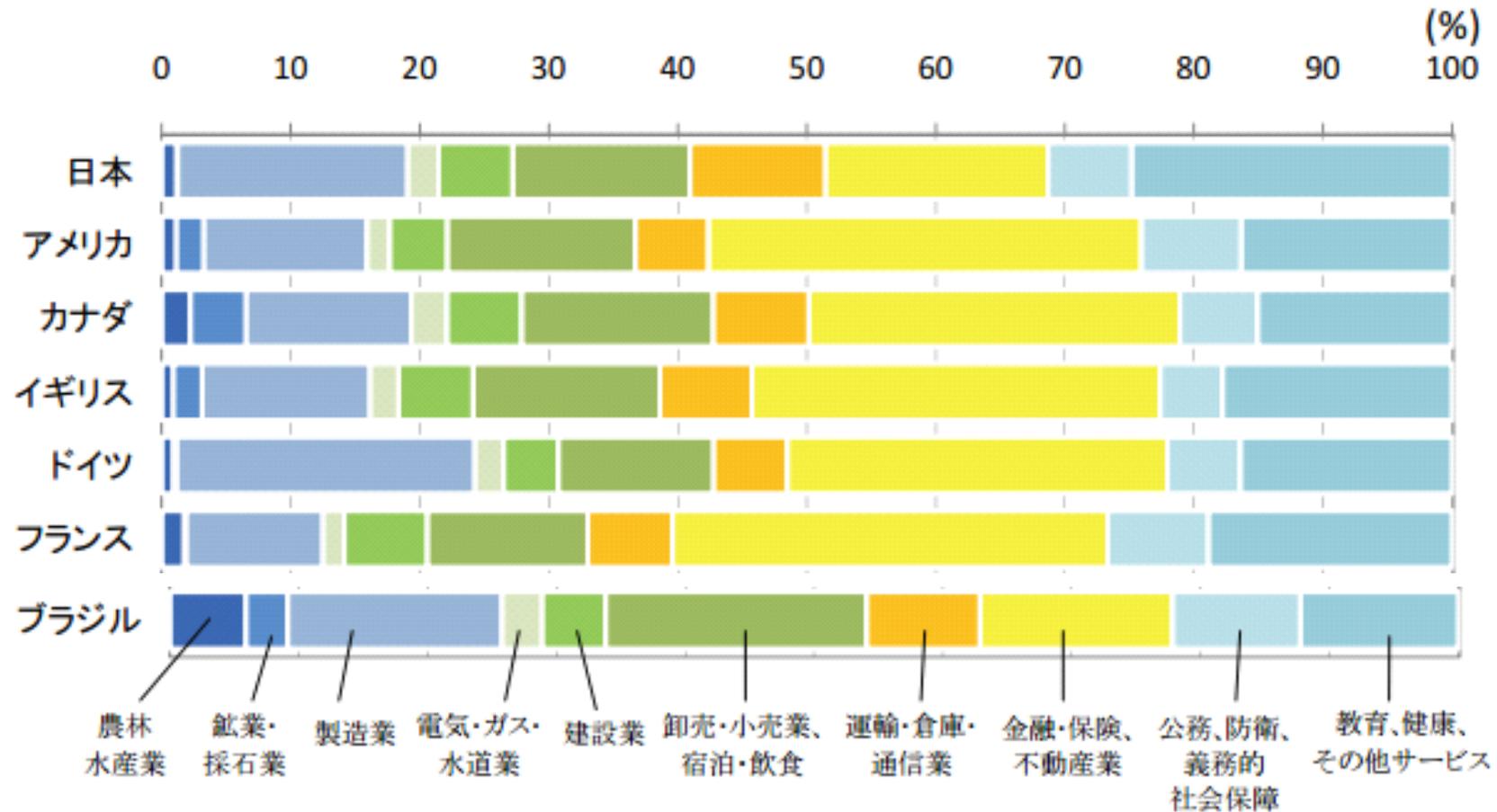
## 債務残高の国際比較(対GDP比)



日本はこの十年間給料は減ってきているが  
英国は製造業が減退し、国力も落ちていると  
思うが、何故給料は増えているのか？

# GDP(国内総生産)構成比の国際比較 (2009年度)

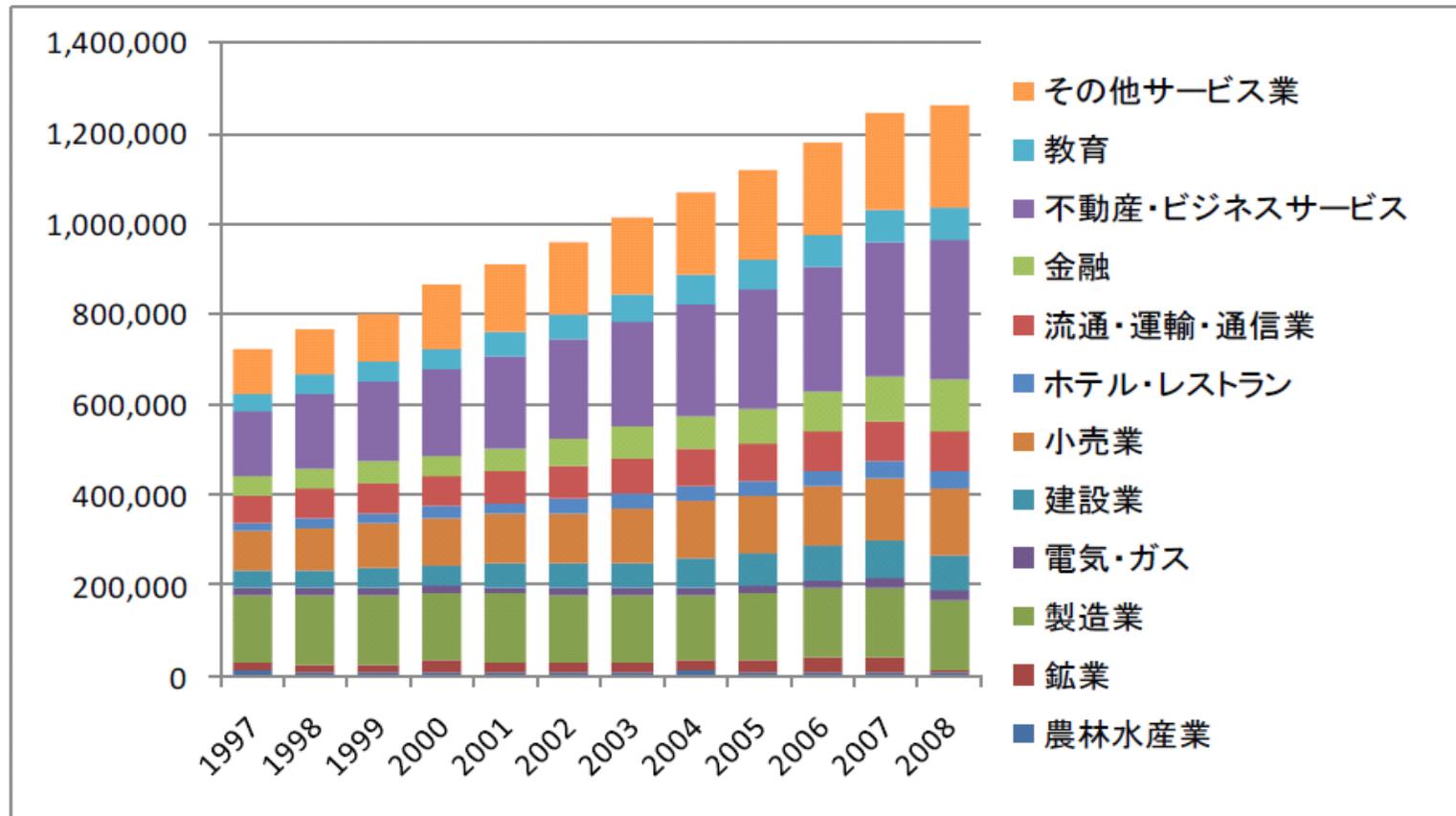
出所:労働政策研究機構



英国と日本のGDP構成比では英国の金融・保険・不動産業が製造業より大きい特徴がある。

# 英国のGDPの推移

単位：100 万ポンド



出所：ONS Quarterly national accounts 3<sup>rd</sup> Quarter 2010

英国のGDPは増加傾向にあるが製造業の割合は減少しているが航空機、自動車、医薬品、化学製品等の製造業健在です。

# GDP(国民総生産)成長率の国際比較

Table 1-2: Nominal and real GDP growth rates

国・地域 Country or region		2001～ 2005	2006～ 2010	2000	2005	2006	2007	2008	2009	2010 年/Year
(名目/nominal)										
日本	JPN	-0.2	-0.8	1.0	0.0	0.6	1.2	-2.3	-6.0	2.3
アメリカ	USA	4.9	2.9	6.4	6.5	6.0	4.9	1.8	-2.5	4.2
カナダ	CAN	5.0	3.5	9.6	6.4	5.6	5.5	4.8	-4.6	6.3
イギリス	GBR	5.1	3.1	5.1	4.2	5.9	5.8	2.9	-3.5	4.3
ドイツ	DEU	1.7	2.2	2.4	1.3	4.0	5.0	1.9	-4.0	4.3
フランス	FRA	3.6	2.4	5.3	3.8	4.7	4.9	2.5	-2.3	2.3
イタリア	ITA	3.7	1.6	5.7	2.8	3.9	4.1	1.3	-3.1	1.9

英国のGDPは増加傾向ですが、日本は伸び悩んでいます。

出所: 労働政策研究機構

# 消費者物価指数の国際比較

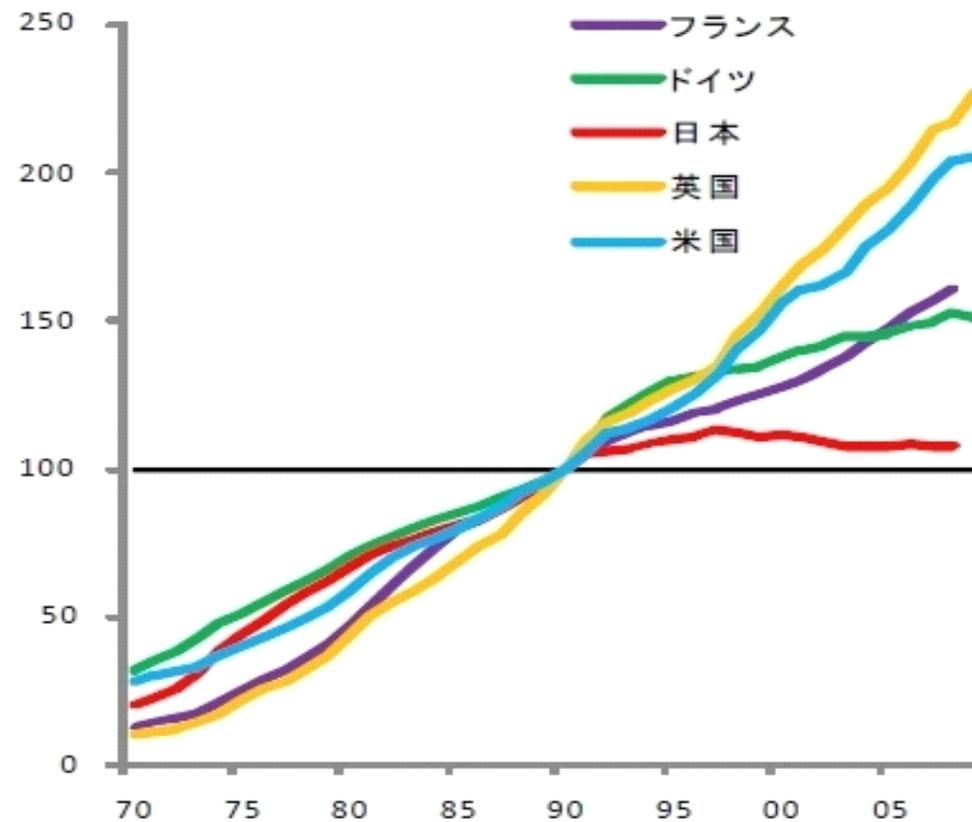
Table 1-16: Consumer price indices

国 Country	1995 年/Year	2000	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	
(指数/indices)		(2005年/Year =100)								
日本 JPN	100.7	102.2	100.3	100.0	100.2	100.3	101.7	100.3	99.6	
アメリカ USA	78.0	88.2	96.7	100.0	103.2	106.2	110.2	109.9	111.7	
カナダ CAN	81.8	89.2	97.8	100.0	102.0	104.2	106.7	107.0	108.9	
イギリス GBR	86.0	93.1	98.0	100.0	102.3	104.7	108.5	110.8	114.5	
ドイツ DEU	87.1	92.7	98.5	100.0	101.6	103.9	106.6	107.0	108.2	
フランス FRA	85.7	91.0	98.3	100.0	101.7	103.2	106.1	106.2	107.8	
イタリア ITA	78.7	88.7	98.0	100.0	102.1	103.9	107.4	108.2	109.9	

英国の消費者物価は上昇していますが、日本は横ばいですね。

出所:労働政策研究機構 IMF資料より

## 世界主要国の賃金長期推移: 1990年 = 100(1970~2010)



出典: 経済協力開発機構(OECD)、武者リサーチ、[jpbress.ismedia.jp](http://jpbress.ismedia.jp)

英国の賃金は上昇していますが、日本は横ばいから下降気味です

表やグラフからご理解いただけたと思います  
が、製造業を最低水準に確保しながら、他の  
産業に力を入れ、GDPを確実に伸ばし、イン  
フレを保ちながら国民所得をの向上を目指す  
政府の施策が功を奏していると思います。

英国で出来ているので、日本に出来ない  
はずはないと考えます。

# 最後に講師から一言二言！

英国も現在いろいろな問題を抱えています。

キャメロン政権発足時に打ち出した聖域なしの予算**10%**削減策がボデイブローで効いている。

- ・ 失業率が悪化 **7.8% → 8.0%**
- ・ 国の債権の**GNP**比が悪化 **76% → 81%**
- ・ インフレの進行 **3.3% → 4.5%**
- ・ 医療現場の手術待ち期間の拡大
- ・ 富裕層・低所得者層との教育格差の拡大
- ・ 子供手当の凍結
- ・ 低所得者層の拡大による社会福祉費の増大
- ・ **EU**に残留か離脱かの国民投票の可能性あり

# しかし学ぶべき事は沢山あると思う！

- 英国の良い所は躊躇せず吸収し実行すべし！
- インフラ整備は百年の大計で直ちに実行へ！
- 食糧、エネルギー自給率の向上を図るべし！
- 国の借金返済は期限を決め、計画的に行うべし！
- 人口減 → 税収減に見合った予算組み、国債発行は最小に！
- 子供は社会の原石、光輝くかどうかは家庭と学校教育次第！
- 技術立国は国語、数学、科学教育の強化そして英語力を持つて！
- 世界から尊敬される、真の国際人を育てよ！
- 絶対弱者を救うのが政治なり！
- 金のかかるアマの政治屋でなく、金をかけないプロの政治家たれ！
- 政治家、役人は真の公僕たれ！
- マネゲームから決別し、物造りの基本に立ち返れ！

# 金のかかるアマの政治家集団、日本の国会！

## 主要国の国会議員（下院） 歳費比較

---

日本：2106万円 十月100万円の文書通信費が年に1200万円

イタリア：1338万円

アメリカ：1335万円

カナダ：1198万円

ドイツ：944万円

フランス：842万円

イギリス：778万円

※日本でいう下院は衆議院です。

※為替換算：米ドル=76.74円,カナダドル=75.93円,ユーロ=98.79円,ポンド=118.37円

日本の国会議員の歳費は先進国で最も高いですが、果たしてそれにふさわしい仕事をしているのでしょうか？

まだまだたくさんお話ししたいことがありますが  
今日はこの辺で。

以上ですが、皆様日本と英国を比較して  
どの様に感じられましたか？

ご質問や活発なご意見をお願い致します。